

令和2年度第3回 周南市地域公共交通会議議事録

1. 日時 令和2年11月19日 14時00分～15時45分

2. 場所 周南市文化会館

3. 出席委員：14名

団 体 名	委 員 名
周南市 都市整備部長	有馬 善己
防長交通株式会社 営業部長	河合 貴志
大津島巡航株式会社 専務取締役	井上 道隆
徳山地区タクシー協会 会長	松本 澄
周南市自治会連合会 会長	田中 義啓
周南市老人クラブ連合会 会長	原田 邦昭
周南市障害者団体連合会 会長	徳毛 裕之
鹿野地区女性団体連絡協議会 副会長	有國 美恵子
周南警察署 交通課長	相良 竜二
光警察署 交通課長	大利 太郎
中国地方整備局 山口河川国道事務所 交通対策課長	河上 伸一
山口県 周南土木建築事務所 企画調査室 主幹	寿恵村 良成
山口県 観光スポーツ文化部 交通政策課長	伊藤 香緒利
徳山工業高等専門学校 教授	古田 健一

4. ●事務局：都市整備部 公共交通対策課
株式会社バイタルリード

5. 議 題
後期地域公共交通網形成計画について（資料1～6）

6. その他
タクシーバス運賃助成制度実証実験について

1 開会

- 事務局 それでは定刻となったため、令和2年度第1回周南市地域公共交通会議を開催します。
なお、本日の会議につきまして、周南市地域公共交通会議規約第7条第2項の委員の過半数の出席があるため、成立していることをご報告します。

2 会長挨拶

- 事務局 それでは、次第に沿いまして議事を進めさせていただきます。会長より進行をお願いいたします。
- ◎会 長 本日は、周南市地域公共交通会議にご多忙中にも関わらずご出席賜りまして、感謝申し上げます。現在周南市では、10月から中須地区のコミュニティ交通が始まり、11月から長穂地区においてコミュニティ交通の実証運行を始めております。事業を着実にすすめるため、委員の皆さまにおかれましては引き続きご協力とご支援のほど、よろしくをお願いいたします。それでは次第に従いまして会議を進めさせていただきます。

3 協議事項 後期地域公共交通網形成計画について

- ◎会 長 議事に入ります。次第2の協議事項 後期地域公共交通網形成計画について、事務局からお願いいたします。
- 業務委託会社 (資料1～5について説明)
- ◎会 長 ご意見がございましたらお願いいたします。
- 委 員 WEB形式でアンケート調査を実施したとのことですが、どのように実施したのでしょうか。少し回収率が低いように思います。QRコードを読み取って回答するかたちでしょうか。
- 業務委託会社 QRコードを記載した紙を対象となる高校生に配布をして実施をしています。
- 委 員 本庁の担当課に行き、高校生アンケート調査がどのような調査か聞いたところ、当初周南市内の高校生のみとの話でしたが、下松等の市外の高校に通う高校生についてもアンケートを取って頂き、感謝申し上げたいと思います。ただ、回収率がもう少し高ければいいと思います。鹿野分校の自転車で通われている生徒さんが1名回答されていますが、鹿野分校が廃校になると、鹿野の高校生は皆バスか、あるいは送迎の自家用車で通うこととなります。冬は路面が凍結します。高いバス運賃です。定期で月に2万円を超える為、家庭に2人高校に通えば4万円を超えます。鹿野は周南市内であるにも関わらず、定期料金が市内料金から外れており、県内全体の定期の料金

の考え方となっています。保護者の負担を分かっていたらと思えます。

◎会 長 他にご意見はありますか。

○委 員 資料2のp38 大津島島民の交通手段について、島から本土への移動なのか、島内の移動なのか、分かりづらくなっています。前回の調査は島からのものではなく陸地部からの移動についての設問であったと思います。資料2のp47 実現してほしいサービスは、現実的に実現可能性があるのでしょうか。乗り換えなしで行けるサービス、というのは水陸両用車のようなイメージなのでしょうか。

●業務委託会社 資料に書いているサービスは、全て法的には可能な内容となっています。一方で、買い物代行サービスを実施する際、担い手が島内にあるか等は、検討の余地があると思います。乗り換えなしで行けるサービスとは、小型のバス車両で船に乗り、そのまま駅の方に行けるようなイメージです。他の地域でも、バス車両を船に載せて本土に行くという例もあります。

資料2のp38の島民の移動手段については、島内移動が多いのか、本土部への移動が多いのか、島民の移動の生活移動の状況を把握するため、今回は聞き方を変えています。頂いた指摘を受けまして、島内・島外の行き先で分けて分析をしてみたいと考えています。

○委 員 以前の調査では、家から港と、港から陸地部までのところで分けて書いておられたので、そうやって分析できるといいと思います。

○委 員 通院先を5年前と比較して、中央病院が減っているとのことでした。その理由として、中央病院が医療コスト削減のため、中核病院は急性期を、それ以外は地域の病院を、というかたちとなっていることが原因かと思えます。

○委 員 資料1のp37で北部鹿野は、ジャンボ1台 普通車2台とありますが、普通車は見ますが、ジャンボタクシーはあまり見たことがありません。どういう頻度でどれくらいの方が利用しているか教えていただけませんかでしょうか。また、荷物を運ぶような工夫も今後されていくようになると思いますが、ジャンボタクシーがあるのであれば、観光交通等も含めて活用できる策があるのではないのでしょうか。日常生活の中で使いこなしてこそだと思います。各関係者と協議をして、活用の幅を広げてはどうかと思います。香川県三豊市粟島で、高齢化を補うのは最先端の技術だ、ということで、低速な電気自動車を運行しています。そのようなやり方を検討してはどうでしょうか。

- ◎会 長 鹿野のジャンボタクシーの利用状況が分かりますか。
- 事務局 鹿野でどれくらいジャンボタクシーが利用されているかは、現在持ち合わせておりません。次回ご説明させていただきたいと思います。
- 委 員 岩国の玖珂に行った際、循環バスが運行されており、車両はジャンボタクシーでした。せつかく鹿野にジャンボタクシーがあるので、広域に住む地域住民の助けになるように、日常使える仕組みを作ってはどうか。
- ◎会 長 地域の大切な財産であり、活用の余地があると思います。また、低速電動車両については、資料の中でも記載があるので説明をお願いいたします。
- 業務委託社 様々な自治体で低速な電気自動車の運行がなされています。地域によっては、必ずしも低速である必要が無い場合もあるため、地域に合ったかたちで検討できればと思います。貨客混載についても、いくつか日本で事例があります。秋田県で農産物の出荷をしている例があります。詳しくは資料1のp58に掲載しています。
- ◎会 長 続いて、意見交換を行いたいと思います。
- 業務委託社 実際に出た意見をまとめたものをスクリーンに表示します。ここに挙がっていない部分で、ご意見をいただけますでしょうか。
- ◎会 長 事前に様々なご意見をいただきました。既に共通認識を持たれているものも多いと思います。皆さんいかがでしょうか。
- 委 員 車椅子の方がバスから降りた後、運転手が座席を座れるようにしてくれる時とそうでない時があり、座れずに立っている時があると、高校生から聞いています。座れるようにしてほしいと運転手に言いたくても、なかなか言いにくいようです。
- 委 員 車椅子の方が降りられた後、その運転手の気がまわらなかったのか、遅延が生じていて走らせることを優先したのか、定かではありませんが、運転手には気を付けるよう話をしています。言われましたように、気になられたことがあればその場でその都度運転手に聞いていただければ対応できると思います。
- 業務委託社 渋滞やバスの遅延に関する意見が挙がっていますが、渋滞するときにはどのくらい遅れるのでしょうか。
- 委 員 日によって異なります。工場の定期修理の日に、今年は最大で1時間程度の遅延が生じました。跨線橋の架け替え工事について、当初は通行止めで遅延の発生を懸念していましたが、そこまで遅れに繋がっていないのではと思います。

- 委員 出光の例で言うと、メンテナンスに今年は3ヶ月かかっています。企業側も相当な努力をされていますが、敷地内から現道に出るのに踏み切りがありますが、車をまわすスペースがないため、混雑してしまっています。
- 委員 30～40年前と比べると、特に櫛ヶ浜の方は渋滞が減っていると思います。一番酷い時は2時間くらい渋滞していました。私も久米から通っていますが、1時間の渋滞は頻繁にありました。最近はおぼダイヤ通りに来ると思います。
- 委員 雨の日にバスの遅延が頻繁に起きるのでしょうか。雨の日は通勤の車が多くなるのではと思います。
- 委員 普段バイクや自転車を使われる方も、雨の日は自家用車での通勤が多くなります。また、雨の日はバス利用も多くなります。乗り降りに通常よりも時間がかかり、遅延が生じることがあります。
- 委員 高齢化により高齢者が多くなり、病院へ行く人が増えると思います。病院とバス停が遠いため、病院の前にバスが停まれるようにしてほしいと思います。
- 委員 大きな総合病院について、いくつか敷地に停められるようにしています。敷地内にバスを乗り入れようとする、向きを変えるためのスペースがいるため、全てに対応ができていない状況です。
- 委員 高齢化が進行しているため、出来る限り早急に決めていく必要があると思います。小回りの利く公共交通もいるのではないかと思います。バス会社だけでなく、道路部局、交通部局等、まちづくり全体で検討できればいいと思います。
- 委員 自動運転の実証実験が各地で行われていますが、各地で問題になっているのが道路の整備の問題です。技術的には実用化が近づいていると思いますので、是非とも周南市においても導入の検討ができればと思います。
- ◎会長 課題や取り組むべき事項をどこまでこの計画に入れられるか、事務局の方で検討していきたいと思います。また、直ぐに対応しないといけないこと、対応に時間がかかるものも踏まえて、工程を考えていきたいと思います。
- 委員 バスのステップが乗りにくいと感じます。バスに障がい者用の座席がありますが、高齢化すると皆介助が必要となります。障がい者も利用しやすいような、誰でも使いやすい公共交通となるような技術を研究・導入できればと思います。

- 業務委託会社 資料6について、計画の目次案をお示しさせていただきました。この目次案に沿って、次回の交通会議において計画素案をお示しできないかと考えています。

4 その他 タクシーバス運賃助成制度実証実験について

- ◎会 長 続いてその他の議題に入ります。タクシーバス運賃助成制度実証実験について、説明をお願いいたします。
- 事務局 (資料について説明)
- ◎会 長 皆さま意見はありませんでしょうか。
- 委 員 助成を受けるのに、受付窓口で書類と押印が必要と書かれています。本人確認について、押印廃止等の対応は考えていますでしょうか。
- 事務局 今回はお互い内容を確認するという意味で、印鑑をいただくかたちとしています。次回以降対応を検討したいと思います。
- 委 員 実証実験は12月1日から3月31日までと書かれています。好評だった場合、市の制度として今後も継続をしていく予定でしょうか。
- 事務局 現在来年度の予算編成のタイミングのため、今後助成制度を継続するかどうか、検討をしているところです。
- 委 員 個人的な感想ではありますが、200円しか助成しないのは少ないと思います。福祉の一環としての側面もあります。予算の関係もあると思いますが、半額ぐらい出してもよかったのではないのでしょうか。
- 委 員 安くバスが乗れるようにすれば、外出機会も増え、まちも活性化すると思います。
- 事務局 200円しか助成しないのは少ない、というご意見もありましたが、路線バス運賃を勘案してこの値段設定としました。実証実験ということもあるので、1月あたり4枚で設定しています。外出が月1回でも増え、経済の活性化や財政支援というかたちで広がっていければと思っています。
- ◎会 長 まちづくり、教育、ハード面等、今回様々なご意見をいただきました。コロナの関係で生活様式も変わると思います。まちづくりと連携しながら、どのように公共交通を構築していくか、新たな仕組みづくりを検討できればと考えています。引き続き皆さん宜しく願いいたします。
- 委 員： 今回の交通計画の中で、現況整理を入れていますが、課題整理や意見交換も踏まえながら、新技術の活用も事業の中で検討していくのでしょうか。また、今回のバスタクシー助成の実証実験についても計画に位置付けていくのでしょうか。

- 事務局 頂いたご意見や課題を整理して計画を作成していきたいと思います。運賃助成については、公共交通の課題として入れるのか、高齢者福祉の観点で入れるのか、少し議論・検討しているところです。整理の仕方は次回また相談させていただきたいと思います。
- ◎会長 技術開発が進められており、色々なやり方があると思います。規制緩和もあるため、活用を検討しつつ、どれくらい計画に盛り込めるか、将来を見据えて検討していきたいと思います。
- 委員 実行しようと思うと、様々な部署が絡んでくると思います。
- 委員 高校生の通学支援の観点も、ぜひご検討いただければと思います。
- ◎会長 以上ですべての議題を終了し、ここで事務局に進行を返させていただきます。

5 閉会

- 事務局 以上で会議を終了します。本日はありがとうございました。